

度会町ふるさと歴史館だより 令和7年1月(冬号)

ふるさと再発見！ 今年の早春フィールドワークは まかえ 麻加江城跡へ

参加者を募集します！

恒例となりました町内の中世の山城跡をめぐる早春フィールドワーク、3回目となる今春は麻加江城跡（麻加江）を見学します。



墓地の東側に広がる郭



土橋を渡って西側虎口から主郭へ

開催日時…令和7年3月9日(日) 午前10時から12時 *雨天中止

見学場所…^{まかえ}麻加江城跡

定員…20名

集合…午前10時(9時30分受付開始)

集合場所…麻加江生活改善センター(度会町麻加江 603-2、駐車場あり)

解散…麻加江生活改善センターにて12時予定

講師…御村精治氏(度会町文化財調査委員・元度会町ふるさと歴史館職員)

協力…度会町地域資源と歴史文化を守る会(北畠充生氏)

参加費用…100円(保険代) *当日お預かりします

申し込み…右のQRコードから申し込んでいただくか、
電話にて教育委員会(0596-62-2422)へ

締め切り…2月28日(金)

注意事項…城跡にさほど高低差はありませんが、笹や低木が茂っているため、山歩きの服装と手袋(軍手など)、滑りにくい靴でご参加ください。



空からこんにちは ⑥ 麻加江

旧中川村の中心集落。宮川にのぞむ標高 40～50mの河岸段丘上に広がります。集落のほぼ中央、麻加江生活改善センター裏の茶畑周辺には今から 1 万数千年前(縄文時代の初めころ)に私たちの祖先が暮らした栢垣外遺跡かやがいとがあり、古くから人の活動舞台だったことがわかります。

表紙でご案内している早春フィールドワーク見学地の麻加江城跡は、集落北方の墓地周辺にあり、町内で最も大規模な戦国時代末期ころの城跡です。また、「かんこ踊」は度会町の無形民俗文化財に指定されており、ここには豊かな歴史・文化が息づいています。



新収蔵品紹介

100 年以上も前！

昨年 3 月に町民の方より寄贈していただいたシンガーミシンです。

このミシンは 1922 年、イギリススコットランドのクライドバンク工場で製造されたものです。

ミシン本体には各所に美しい装飾が施されており、とても貴重なもの。今年中に展示室でご覧いただけるように準備中です。



長さ 112cm、奥行 41cm、
高さ 74cm、ミシン高 22.5cm



新年おめでとうございます。
昨年は新年早々に能登半島を襲う大地震が発生。甚大な被害をこうむり、いまだ復旧・復興は道半ば。私たちの地元でも南海・東南海地震の発生が心配され、他人事ではありません。

過去に起きた災害を学んで次に備える。歴史を知ることが未来を切り開く道標となることを、私たちは忘れないようにしたいものですね。

わたらいちょう

度会町ふるさと歴史館 (三重県度会郡度会町中之郷 1025 旧小川郷小学校内)



開館日 毎週木曜日 (第 5 木曜日は休館) と第 2・第 4 日曜日及び年末年始 開館時間 9 時～16 時

お問い合わせ・連絡先

〒516-2195 三重県度会郡度会町棚橋 1215-1 度会町教育委員会

TEL.0596-62-2422 FAX.0596-62-1647 kyoi@town.watarai.lg.jp